



学校報 「二中の木」



令和5年1月16日(月)
第18号 文責: 校長 工藤 真弘
TEL: 52-5138

1年間の締めくくりを新たなステップに

新年が明け三学期がスタートしました。1年間、3年生にとっては中学校生活3年そして義務教育の課程9年間の締めくくりです。4月からの次のステップにつながる中身の濃い三学期にしてほしいと思います。始業式では、生徒たちに次のようなお話をしました。

【終業式の校長の言葉より抜粋】

2023年、令和5年卯年うさぎ年のスタートです。気持ちを新たに今年の目標を立てていると思います。目標を立てる上で、目標を達成した自分の姿をイメージすると、がんばることの意義が一層明確になります。

3年生は、高校に入学してからの自分の姿をイメージしてみてください。どんな高校生になっていたいですか。1、2年生は、4月からどんな2年生、3年生になっていたいですか。新たな環境でフレッシュな気持ちに満ちている姿、好きな教科を思い切り勉強している姿、部活動で真剣に練習している姿、マイペースでもコツコツと努力を積み重ねている姿、みんなに優しくしている姿など、各自イメージしてみてください。そのために三学期はこれをがんばっていくんだと考えると、がんばる気持ちになりやすいし、次の目標にもつながりやすいということです。

特に3年生は、受検に向かう目標を立てていると思います。合格は大きな目標ですが、ゴールではありません。入学してからのイメージをもつことで、合格後の目標も立てやすく、4月のいいスタートにつながります。私立高校や国立高専など早めに合格が決定する人も入学後のイメージをしっかりと持って、三学期を過ごしてほしいと思います。

さて、1、2年生の皆さん、12月に行った県の学力・学習状況調査の速報結果です。秋田県の中学生の平均を5教科すべて上回るというすばらしい結果でした。調査問題は、普段の授業の中で「自分の考えを表現する、学び合う」といった活動をがんばらないと解けない問題が多いので、授業のがんばりの結果です。私がもっと嬉しく、すばらしいと思ったのは、一緒に行ったアンケートで、「人の役に立つ人間になりたい」「地域のためになる活動に進んで取り組みたい」といった心の豊かさについても県の平均を上回っていることです。「学校の勉強がよくわかる」「進んで話し合いをしている」といった授業に向かう姿勢もトップレベルです。心の豊かさが県内トップレベルというのは、校長として二中生を心から誇りに思うことです。3年生の皆さん、素晴らしい後輩が育っています、安心してバトンを渡せます。

全校の皆さん、春に向かう三学期です。「自主、不屈、友愛」の校訓を心に抱き1年間の締めくくり、3年生にとって中学校最後の締めくくりに相応しい三学期になることを期待しています。応援しています。

冬休みに「全日本アンサンブルコンテスト第45回県大会県北地区予選能代山本大会が行われました。本校からは吹奏楽部がコンテストの部に3チーム、フェスティバルの部に2チームエントリーしました。音楽素人の私の感想が的を射ているかは別として、当日はこれまでのベストと言える思いのこもった力強い演奏を聴かせてくれました。

金賞になったクラリネット3重奏の3人は、今週末21日（土）に秋田芸術劇場ミルハウスで行われる県大会に出場します。

金賞：クラリネット3重奏（佐々木仁衣奈、今野 楓、清水 千尋）

銀賞：金管7重奏（畠山 智樹、工藤 大芽、渡部 美咲、福岡 咲弥、

小松 茉白、渡邊 新菜、村田 陽徳）

フルート3重奏（菱川 治美、木村 陽、平川 凜音）

※写真は激励会より

